

内令
要
登
載

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

運送艦定員表其ノ九別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四一八ノ九九頁参照)

内令第七十六號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十九運送艦ノ部中大瀬ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

足
摺
五
八
六
〇
〇
六
一
六
二
四
一
〇
四
二
七/八
三
四
一/二
二
二

同表備考第二號中「筑紫」ノ下ニ「足摺」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六ノ六ノ二頁参照)

内令

七一九

0167

内令

内令第七十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦 筑摩

兵 曹、水兵

十四人(掌砲兵(高三))

内令第七十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦 夕張

兵 曹、水兵

十人(掌砲兵(三))

内令第七十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0168

昭和十七年内令第二千三百七十號中「羽黒」ノ下ニ「愛宕、妙高」ヲ加フ

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦摩耶

兵 曹、水 兵

四人(掌信號兵 二)

参照 昭和十七年内令第二千三百七十號ハ軍艦羽黒ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第八十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦青葉

兵 曹、水 兵

七人(掌信號兵 二)

内 令

三三

0169

内令

三三

内令第八十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南東方面艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附

三人

中少尉(機)、機關兵曹長 附

一人

衛生中少尉、衛生兵曹長 附

一人

主計中少尉(主)、主計兵曹長 附

一人

(兼第十一航空艦隊司令部附)

内令第八十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0170

軍艦多摩
兵 曹、水 兵 十二人(掌砲兵 五)

内令第八十三號

昭和十七年内令第五百七十一號中「二十五人(掌砲兵〔高五〕)ヲ「二十八人(掌砲兵〔高三〕)ニ改ム

同年内令第二千三百七十一號中「高雄」ノ下ニ「長良」ヲ加フ

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 (昭和十七年内令第五百七十一號ハ軍艦長良ニ人員臨時増置ノ件
同 年内令第二千三百七十一號ハ軍艦高雄ニ人員臨時増置ノ件)

内令第八十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三

0171

<p>特設運送船千早丸 兵 曹、水 兵 二人 機關兵曹、機關兵 二人 主計兵曹、主計兵 一人(掌經理兵)</p>	<p>内令第八十五號 當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年一月三十日 海軍大臣 嶋田繁太郎 驅逐艦 潮、曙、漣 兵 曹、水 兵 二人</p>	<p>内令第八十六號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年一月三十日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p>
--	--	--

0172

第一通信隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附 三人

兵 曹、水 兵 三十八人 (掌電信兵 二〇、
掌暗號兵 一八)

内令第八十七號

昭和十七年内令第千二百七十九號中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「大阪通信隊」ヲ「鎮海海軍通信隊」ニ、
大阪通信隊

「兵科特務士官、准士官 隊附 一人(海岸局ニ派遣セシムベキモノ)」ヲ「中少尉(水)、兵曹長

隊附 一人(海岸局ニ派遣セシムベキモノ)」ニ改ム

参照 前記内令ハ横須賀海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第八十八號

昭和十七年内令第千四百六十九號中左ノ通改正ス

内令

一二五

0173

内令

二二六

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團

吳海兵團ノ部中「主計兵曹(教員)二人(掌經理兵一)」

佐世保第一海兵團

ヲ「主計兵曹(教員)四人(掌經理兵二)」ニ改ム

参照 前記内令ハ昭和十八年度經理術、衣糧術特技兵講習期間横須賀第一海兵團等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第八十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第三二五八號
ニテ本號廢止

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校

機關兵曹(教員) 十三人 (掌機兵高機械一、掌内兵高三)

(掌電機兵高七)

0174

運送艦定員表 其ノ九

(昭和十八年内令第七十五號)

考 備	計		乗組		分主 隊計 隊長 兼 長	軍醫 隊長 兼 長	分 隊長	機 關 長	運 用 長	砲 術 長 兼 長	航 海 長	副 長	特 務 艦 長	足 招	足 招										
	特務士官	士官	中少尉(水)	中少尉(機)												主計少佐、主計大尉	軍醫少佐、軍醫大尉	少佐、大尉	少佐、大尉	少佐、大尉	少佐、大尉	中少佐	大佐		
	二人	十一人	一	一												一	一	三	一	一	一	一	一		
考 備	兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工務兵	機關兵	水兵	主計兵曹	衛生兵曹	工務兵曹	機關兵曹	兵曹	主計兵曹長	機關兵曹長	兵曹長	足 招								
		士官	士官	兵	兵	兵	兵	兵										兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
		百二十八人	三十六人	四人	六	一	三	三十九										七十九	二	一	二	十五	十六	一	二

一 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌砲長、一人ハ掌運用長ニ充ツ
 二 中少尉(機)及機關兵曹長ノ中一人ハ掌機長、二人ハ機械長ニ充テ掌機長ハ電機長ヲ兼
 三 兵科分隊長ノ中一人ハ大尉(水)ヲ以テ、一人ハ大尉(機)ヲ以テ補スルコトヲ得
 ネシムルモノトス

0175



内令第九十號

昭和十八年內令第九十一號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

中少佐	教官	一人
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官 (教員)	二人
兵曹	(教員)	十人(掌砲兵 高)
衛生兵曹、衛生兵		一人
主計兵曹、主計兵		十一人(掌經理兵 一)
水兵		四十人(掌砲兵 普一〇)
機關兵		七人(掌内火兵 一、掌電機兵 一)
工兵		二人(掌工兵 普(替接本具) 一)

内令

一二七

0176

内令第九十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十二特別根據地隊

主計兵曹、主計兵

五人

内令第九十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍軍需部

書記 附 臨時一人

内令第九十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0177

内令
要
登
載

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一百海軍經理部

書記 臨時二人

第二百海軍經理部

書記 臨時一人

内令第九十四號

昭和十四年内令第四百號中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員ノ部海軍航空技術廠及海軍航空技術廠支廠ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍航空技術廠

技術科佐尉官 部員 二十二名

材料部 四人
飛行機部 七人
發動機部 九人

内令

一三九

0178

海軍航空技術廠支廠

技術科佐尉官 副部員

十六人

電氣部 四
兵器部 一
火工部 一
光學部 二
計測部 四
爆彈部 二

減員ノ部海軍航空技術廠及海軍航空技術廠支廠ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍航空技術廠

技師

十一人

材料部 三
科學部 一
飛行部 三
發動機部 四

技手

九人

海軍航空技術廠支廠

技師

七人

電氣部 一
兵器部 一
火工部 一
光學部 一
計測部 三
爆彈部 一

技手

四人

参照 前記内令ハ海軍總政本部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ (内令提要卷一、四八〇ノ三頁)

0179

内令第九十五號

昭和十七年内令第五百九十一號中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

大	中	中	少	少	軍	主	特務士官(水)	特務士官(飛)	特務士官(整)	特務士官(工)
		佐	佐	大尉	科尉官	計科尉官	兵曹長	飛行兵曹長	整備兵曹長	工作兵曹長
		分遣隊長	飛行隊長	兼隊長	隊附	隊附	隊附	隊附兼教官(教員)	隊附兼教官(教員)	隊附
一人	一人	一人	二人	一人	一人	一人	一人	三人	三人	一人

内令

一三一

0180

内令

一三二

看護科特務士官、准士官	隊附	一人	
兵	曹、水	兵	三十人
			(掌砲兵 普高、 掌測的兵 普一、 掌帆兵 普高)
飛行	兵	曹	十五人
			(掌飛行兵 偵操 一四)
整備	兵曹、整備	兵	百四十四人
			(掌整備兵 普高 四二)
機關	兵曹、機關	兵	二十七人
			(掌機兵 繕 普高、 掌電機兵 普高、 掌内火兵 普一)
工作	兵曹、工作	兵	十七人
			(掌工兵 機械 普高、 板金 普高、 木具 普高、 仕上 普高、 焊接 普高)
衛生	兵曹、衛生	兵	五人
主計	兵曹、主計	兵	十七人
			(掌總理兵 普高、 掌衣糧兵 普二)
備考	兵曹二人、飛行兵曹十五人、整備兵曹五人、工作兵曹一人ハ教員配置ニ充ツルモノトス		

參照 昭和十七年内令第五百九十一號ハ假ケ浦海軍航空隊(東京分遣隊ノ職員ニ充ツルモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

0181



内令第九十六號 昭和十八年内令第八十五號ヲ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍航空隊

兵 曹 水 兵

六人 (掌電信兵 三)

内令第九十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部

中 少 佐 出仕 一人

内 令

一三三

0182

内令

一三四

内令第九十八號

昭和十八年三月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年二月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年二月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二海軍航空廠

中 佐 出仕 一人

内令第九十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年二月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一海軍補充部

中少尉(水)、兵曹長 附

十五人

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者

一三四七

中少尉(機)、機關兵曹長 附

十五人

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者

二四三六

0183

第二海軍補充部

中少尉(水)、兵曹長 附

十人

横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者
佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者

一四二

中少尉(機)、機關兵曹長 附

十人

横須賀、佐世保鎮守府在籍者
吳、舞鶴鎮守府在籍者

各各三

本人員ハ特設海軍補充部ニ於ケル各部缺員ノ補充ニ充ツルモノトス

○正誤 (料)

本年内令第五十八號中「大中尉」ノ下ニ「(水)」ヲ脱ス

内令

一三五

内令撰
要登載

内令撰
要登載

内令第百號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅潜艇定員表其ノ二中「第三十九號」ノ下ニ「第四十一號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ八四頁参照)

内令第百一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ三ノ二中第十一、第十二、第十三ノ欄ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十八驅潜艇ノ部中「第三十九號」ノ下ニ「第四十一號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六ノ五頁参照)

内令

一三七

0185

内令提
要登載

内令

一三八

内令第百二號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項掃海特務艇ノ欄「第七號」ノ次ニ「第八號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁参照)

内令第百三號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

第四十一號驅潜艇

横須賀鎮守府在籍

第四十一號驅潜艇

右警備驅潜艇ト定メラル

昭和十八年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

0186

内令第四百四號

右警備潜水艦ト定メラル

昭和十八年一月三十一日

吳鎮守府在籍

伊號第三十八潜水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一三九

0187